

平成 30 年冬、万世大路「ニツ小屋隧道巨大氷柱」続実見記

万世大路研究会（大滝会）

鹿摩貞男

はじめに

1月23日（火）に旧国道13号（旧万世大路）^{ニツ小屋隧道}の巨大氷柱群を、14日に引き続き見学してきたので写真を中心として報告する。

やはりいつものシーズンに比べ気温が高いのであろうか、福島側の最初の氷柱箇所では水が側壁から勢いよく噴き出し、中間部の巨大氷柱箇所では漏水が表面を伝い流下していた。前回見学時より若干痩せてきたように感じられたけれども、前回に増してその透明度は高く綺麗な氷柱を見ることができた。

福島市では22日（月）から23日（火）の朝方にかけて激しく雪が降り今冬の最大積雪深27cmを記録している。ニツ小屋地区では、午前中は風もなく時折陽がさす好天に恵まれたがニツ小屋隧道に近づくにつれお昼頃からは風雪模様となっています。

巨大氷柱写真集



写真-1 ニツ小屋隧道到着、風雪模様。



写真-2① 福島側最初の氷柱群（左側）。漏水が吹き出している。



写真-2② 福島側最初の氷柱群。



写真-2③ 福島側最初の氷柱群



写真-3① まるでミニ神殿(福島側 2 番目の氷柱群、右側)



写真-3② 脇から見ると何かの動物みたい(福島側 2 番目の氷柱群)



写真-4① 中間部巨大氷柱、福島側から望む(1)。



写真-4② 中間部巨大氷柱、福島側から望む(2)。



写真-4③ 中間部巨大氷柱群、福島側から望む(3)。



写真-4④ 中間部巨大氷柱群、福島側から望む(4)。



写真-5① 中間部巨大氷柱、米沢側から全体を望む(1)。



写真-5② 中間部巨大氷柱、米沢側から全体を望む(2)。



写真-6① 中間部巨大氷柱、米沢側から望む(1)



写真-6② 中間部巨大氷柱、米沢側から望む(2)



写真-6③ 中間部巨大氷柱、米沢側から望む(3)



写真-7① 奥の氷柱群(1)



写真-7② 奥の氷柱群(2)



写真-8① 中間部巨大氷柱天井部、米沢側から望む(1)



写真-8② 中間部巨大氷柱天井部、米沢側から望む(2)



写真-8③ 中間部巨大氷柱天井部、米沢側から望む(3)



写真-8④ 中間部巨大氷柱天井部及び奥の氷柱、福島側から望む。



写真-9① 中間巨大氷柱、米沢側から望む。
向かって左側氷柱足元。



写真-9② 中間巨大氷柱、米沢側から望む。
漏水滴り落ちる。



写真-10① 米沢側坑口付近巨大氷柱群(1)。



写真-10② 米沢側坑口付近巨大氷柱群(2)。



写真-10③ 米沢側坑口付近巨大氷柱群(3)



写真-11 下山開始、二ツ小屋隧道福島側坑口
付近、風雪強まる。

おわりに

登山時には、少し溶けた上に新雪があったため特に急斜面では滑りやすく苦勞したが、下山時には尻餅をつきながら新雪の上を滑り降りることができ楽であった。前回は湿った雪で滑らなかったものである。

午後2時過ぎ、下山時には風雪が強まり時折前方が見えなくなることもあったけれども無事駐車場へ戻ることができた。

【謝辞】

大滝会 HP 管理人紺野文英様にはいつものように編集作業をして頂き感謝申し上げます。

《ご注意》

本レポートは、当該「二ツ小屋隧道巨大氷柱」見学を一般の方々にお奨めするものではありません。冬期の二ツ小屋隧道に行くためには完全な冬山装備が必要であり、何よりも冬山登山の豊かな経験を持ち、かつ当該地形を知悉したガイドさんに案内して貰わないと行ける所ではありません。一歩間違えば重大事故に繋がることとなり大変危険な場所なので、単独行動を取られることのないようくれぐれも注意して下さい。

終